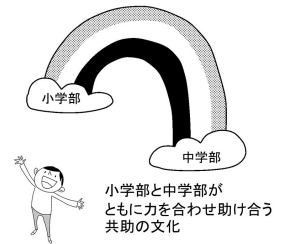




## 1 困難を乗り越えて 小学部運動会

爽やかな晴天の下、穂波東校小学部運動会が開催されました。小学部の児童たちは約3週間、先生方のご指導の下、一生懸命練習に励み、本番当日ではその成果を十分に発揮し、素晴らしい運動会となりました。

今回の運動会では、練習期間中に2度も台風の接近があり、運営上困難を極めました。台風による雨天の影響で練習時間が削られるだけではなく、熱中症対策のために準備をしたテントは台風が来るたび撤収等の対応を迫られました。小学部の先生方は例年以上に大変であったと思います。本当にお疲れ様でした。そのような中、中学部の部活生と先生方が、テント設営を手伝いました。小学部と中学部がともに助け合う「共助の文化」をこれからも穂波東校の良き文化として継承していければと願っています。



## 2 「再チャレ学習」のすゝめ

中学部での学力向上の取組の一つに「再チャレ学習」があります。これは、テストで一度間違った問題に対して「再度チャレンジする学習」です。(小学部の先生方には、7・8・9年生毎の「再チャレ学習：解説用プリント」を配布していますのでご参照下さい。)

テストを解きっぱなしにせず、再度チャレンジすることを習慣化することでできれば、学力は確実に向上します。この習慣づくりを児童期より進めることができれば、とても理想的です。

小学部でもテストの×の問題に対して、授業の中や宿題において、再度チャレンジする取組が広がればと願っています。

## コラム 「再チャレ学習」と「失敗力」

8年生用の「再チャレ学習：解説用プリント」の中で少し触れているように、「再チャレ学習」は、単にテストの点数を上げるだけではなく、「失敗力」の育成にもつながります。

この「失敗力」とは、失敗から学び、失敗を次の成功につなげていく力のことです。現在、グーグル、スターバックス等の世界的な企業では、失敗力のある人材が高く評価される傾向があります。また、ハーバード大学、スタンフォード大学などの経営大学院の受験では、「失敗設問」といわれる課題が出題され、これまでにどんな失敗をしたのか、その体験から何を学んだのかを具体的に書くことが求められます。

このような傾向の背景には、次のような現実があります。

- 変化の激しい社会の中で、企業や組織は、新しいことに挑戦せず、小さな成功を積み重ねるだけでは生き残れない。
- 企業や組織を成長させるイノベーションは、「挑戦と失敗」なくしては起こり得ない。
- 自分の失敗を語れ、活かすことができる人こそグローバル・リーダーになり得る。

この「失敗力」について関心を持たれた先生方には、次の本をお勧めします。ぜひご一読下さい。

世界のエリートの「失敗力」 ～彼らが〈最悪の経験〉から得たものとは～

著者：佐藤 智恵 PHPビジネス新書